

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401269		
法人名	有限会社 ソラ		
事業所名	グループホーム 笑顔の村五番地		
所在地	札幌市手稲区曙1条1丁目5番10号 (電話) 011-685-6071		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3		
訪問調査日	平成20年11月21日	評価確定日	平成21年1月7日

【情報提供票より】 (20年10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 10 月 20 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	8 人	常勤 3人 非常勤 5人 常勤換算 5.5人	

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り
	2階建ての 1～2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	光熱水費 15,000円	
			暖房費(11～3月) 8,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	100円
	月	35,000円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者	利用者人数	6名	男性	1名	女性	5名
要介護1	要介護1	0名	要介護2	5名		
要介護3	要介護3	1名	要介護4	0名		
要介護5	要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	年齢	平均 80歳	最低 63歳	最高 92歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西成病院、みき内科クリニック、ラビット歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

介護度の軽い利用者が多く、階段の昇降をはじめ段差のある一般住宅を上手に住まいとして活用し、家庭的なグループホームとなっている。階段の幅は狭いが、手すりを両側に設置し、安全に昇降が出来るように職員は見守りを十分に支えている。居間には一部畳の上がりがあり、利用者がそれぞれに落ち着いた居場所が無言のうちに確保されている。居間とは別に食堂があり、職員の会議の場ともなり、多目的に利用されている。利用者は好みの献立を出したり、漬物の指導者になったり、利用者優先のケアに努力をしている。運営法人内のほかのグループホームとは良好な関係作りがなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>① 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で取り組みを期待した項目は、現在の職員が評価が初めての体験で、前年度から継続となっている。各項目の共通の理解をもちケアの質の向上を目指している。運営推進会議の開催が多くなり、また、市との連携が良好となった。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者以外の職員は初めての評価に戸惑いがあったが、各項目について検討し、自己評価を実施した。さらに、取り組みを開始し、ケアの質の向上を目指している。</p>
	<p>② 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、ホームの報告のみならず、参加者の意見交換でヒントを得たり、要望を受けとめ、サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。特に地域包括支援センター職員のアドバイスが参考となっている。</p>
重点項目	<p>③ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者の様子や状況は、毎月の通信で知らせている。また、来訪時は気軽に話せる雰囲気になっている。運営法人に意見の窓口を設置して、様々な工夫で意見を集約し、運営に活かした取り組みをしている。</p>
	<p>④ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームとして町内会に加入し、参加可能な限り行事に参加して交流し、楽しんでいる。また、運営法人内のグループホームが所属する近隣の地域の盆踊り仮装大会に参加して優勝し、利用者は勿論、職員も励みとなっている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームとして独自の理念をわかりやすい言葉で明文化して作成し、地域密着型サービスに努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員と日々の申し送りや会議などで理念の実践に向けて、検討しつつ取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者は参加可能な限り、町内の行事に参加し、楽しんでいる。また、運営法人内のグループホームが所属する地域の盆踊りの仮装大会で優勝し、利用者と職員の励みとなっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者以外の職員は初めての評価に戸惑いつつも各項目について検討し、自己評価を実施した。さらに、取り組みを開始し、ケアの質の向上に取り組んでいる。		

札幌市手稲区 グループホーム笑顔の村五番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの報告のみならず、参加者の意見交換でヒントを得たり、要望を受け止め、サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の担当者は勿論、市の保護課の職員と連携をとり、利用者を囲んで話し合いをしている。又、看取りについても指導をいただいている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームでの利用者の様子は、毎月の通信や電話、また来訪時に詳しく知らせている。ホームページで様々な案内や情報を開示しているが、ホームページは家族だけに知らされたパスワードで見られるようになっており、個人情報の保護にも留意している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に気軽に話せる雰囲気になっている。又、運営法人に意見、要望などの窓口を設置しており、それらを運営に活かした取り組みをしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者と職員は馴染みの関係作りを心がけ、利用者が落ち着いて生活が出来るよう、異動は行っていない。また、運営法人内のグループホームとは、いつでもほかの職員と馴染めるように研修の形で交流している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人内のグループホームが4箇所あり、ホーム間で職員を交代し、月に1度の研修としている。管理者は外部研修で学んだことを、必要に応じて職員に伝えている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議などで話し合われたことを日々のケアに活かしている。運営法人内では職員間の交流をしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者とは家族も含めて見学や体験を重視し、十分な話し合いをしながら、サービスを開始して徐々に馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一方的な関係ではなく、お互いが協働しながら、その人らしく穏やかな生活が出来るように支援している。喜怒哀楽をともにし、和やかに暮らしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々の係わりの中で声をかけ、利用者の思いや意向を聞き取り把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、ホームでその人らしく過ごせるケアが、介護計画に沿って実践されているか否かを話し合い検討している。3ヵ月毎に見直し、家族の意見も取り入れて、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画と日々の暮らしが、一致しているかを細かい記録を参考にしながら、変化に気づき、現状に合った介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて、通院介助など利用者一人ひとりについての支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関と連携を図り、利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。隔週往診医を利用し、利用者や家族の安心となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応指針を作成し、利用者や家族の同意をいただき、さらに状態の変化がある場合には、家族と話し合い納得のいただけるよう対応している。過去に終末対応も体験した。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員が日々の係わりの中で、利用者の尊厳と権利を守るように意識して、ケアにあたっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居間の一人ひとりが居心地の良い場所で、希望を言ったり、日課への取り組みを話したり、その人らしく納得して、過ごせる柔軟な対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食堂のスペースにゆとりがなく、食堂テーブルには利用者のみ着席しているが、側に職員1名は見守りをしながら、ともに食事をしている。準備や片付けなど利用者も応援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、利用者の時間や温度などの希望によって入浴しているが、入浴を拒む利用者には、職員が効果などを分かりやすく話して、納得していただくなど、また清拭や足浴で週2回を目途に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は自立歩行者が多く、家事など分担しながら、一人ひとりが無言のうちに役割が決まり、責任のある生活をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎月1度は行事を計画し、屋外で過ごすプログラムを実施して、外出支援している。日常的には、散歩など公園が近くにあり、天気の良い日は戸外で昼食の時もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は利用者の気分や行動を把握して、外出時は、一緒に出かけるようにしている。玄関には分かりやすいセンサーを設置し、出入りの確認をしている。夜間のみ施錠している。		

札幌市手稲区 グループホーム笑顔の村五番地

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力をいただき、避難訓練、避難経路の確認などの訓練を年1回実施している。	○	木造住宅で階段利用の避難を考慮すると、年2回の訓練が望ましい。さらに、地域の協力体制の充実を期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、職員は見守りをしながら、利用者に寄り添い、摂取量や水分量など細かく記録をしている。バランスの良い利用者の好みに配慮した食事をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一般住宅をホームとしているので、家庭にいる雰囲気が多くあり、違和感なく自然に暮らしている。利用者にとって居間など居場所があり、落ち着いて過ごしている。居間と食堂が別室で、狭くても工夫され、多目的に有効利用されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は画一的ではなく、それぞれ違っているが、利用者は馴染みの品物を持ち込み、落ち着いた自分の部屋になっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。